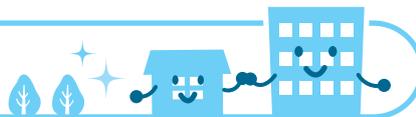


地域の特性



(1) データで見る地域の概要

地区連合の65歳以上人口比率は21連合中5番目に高く、0～6歳人口比率も同じく5番目に高くなっています。

核家族世帯率は区全体が50.1%のところ65.6%と区内で一番高いエリアです。三世帯世帯率も区全体が3.3%であるのに対し、5.0%と区内で一番高くなっています。一方、単身世帯率は26.1%で区全体の43.3%よりも低く区内で最も低いエリアですが、65歳以上の単身世帯率は21連合中5番目に高く、65歳以上の二人暮らし世帯は21連合中最も高くなっています。

平成17年3月末から平成21年3月末までの間に、65歳以上人口比率は17.2%から21.6%へと上昇しています。

農地や里山が多く残り、緑豊かな自然環境に囲まれています。公園も多く、15か所あります。

エリア内には地域ケアプラザや地区センター、病院、3つの保育園、3つの小中学校、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、有料老人ホーム、高齢者や障害者のグループホーム等、多くの福祉施設があります。

基礎数値(人口、世帯、高齢化率等)

(平成21年3月末現在)

地区名	人口(人)	世帯数	0～6歳 人口比率(%)	65歳以上 人口比率(%)	75歳以上 人口比率(%)	単身世帯比率(%)	
						65歳以上	75歳以上
菅田	16,908	7,530	6.2	21.6	8.4	12.4	7.0
神奈川区全体	227,164	113,856	5.8	18.8	8.7	10.7	6.2

(2) 行われている主な活動

- ◆ 高齢者の昼食会や配食活動、サロン等が行われています。
- ◆ 親子のたまり場「すくすく子がめ隊」や保育園の園庭開放に、地域のボランティアが協力するなど、子育て支援が行われています。
- ◆ ウォーキングや体操等、健康づくりに取り組んでいます。
- ◆ エリアの入所施設では地域に開かれた施設運営を目指して、小中学校との連携やボランティアの受け入れ等を行っています。
- ◆ 障害者やその家族との交流会、障害者のバスハイクなど、障害者と地域との交流が行われています。
- ◆ 小学生と中学生が交流する機会として、青少年デイキャンプを実施しています。
- ◆ まつりや清掃活動等による地域の交流が行われています。

(3) 地域の課題

隣近所と顔見知りになり日常的に助け合える関係づくり

高齢化の進行に伴い高齢者のみの世帯が増加するなど、地域での支えあいや見守りが必要な人が増えているため、隣近所と顔見知りになり、日常的に助け合える関係をつくっていくことが必要になっています。また、従来からの住民と新しく転入してきた住民との交流や、世代間の交流も求められています。

地区の「重点課題」と「取組」

菅田地区

重点課題：隣近所と顔見知りになり
日常的に助け合える関係づくりすぐに
取り組む
こと

〔個人の取組〕

- できるだけ多くの場に出向いて交流を広げ、横のつながりをつくります。

〔自治会町内会〕

- ゴミ出しのとき等さまざまな機会に声かけ、あいさつを行います。
- 顔見知りになる機会として清掃活動やサークル活動を推奨し、大事にしています。
- 全世帯に声をかけて避難訓練を実施し、要援護者を把握するようにします。

〔民生委員児童委員、地区社会福祉協議会〕

- 「こんにちは赤ちゃん訪問事業」の際に、地域で行っている親子のたまり場「すくすく子がめ隊」に参加するよう勧めるなど母親同士をつないでいきます。
- ひとり暮らし高齢者世帯には、ふれあい訪問や防災グッズの配布を通じて、顔見知りになるきっかけをつくります。
- 登下校時の見守り活動、見守りパトロールへの参加を継続します。
- 保育園の園庭開放の活動や、老人会活動（高齢者芸能大会など）、ひとり暮らし高齢者お出かけ支援の活動、障害者バスハイク等に参画して地域の人たちとの関係づくりをさらに充実させます。

〔自治会町内会、地区社会福祉協議会〕

- イベントを通じた高齢者と小中学生との交流を積極的に進めていきます。

〔福祉施設、学校〕

- 小中学生の体験ボランティア受け入れを積極的に行います。
- 多くの人の目にふれるよう地域の取組について広報、掲示を行います。

時間を
かけて
取り組む
こと

〔自治会町内会〕

- 老人会・子ども会との連携を強化し、交流会を開催します。
- 町内全体の一斉清掃など各地域活動の機会を活用し、困ったことを話し合うようにします。
- 各自治会町内会の班単位での会合を定期的で開催し、話し合いの場を設けます。
- 自治会町内会、民生委員児童委員、保健活動推進員、友愛活動推進員等、菅田地区連合町内会合同で情報交換の機会を設けます。

〔民生委員児童委員〕

- 学校と連携し、小学生と高齢者の食事会が実現するようにします。

〔民生委員児童委員、地区社会福祉協議会〕

- ひとり暮らし高齢者だけでなく、高齢者世帯のお出かけ支援に取り組みます。

重点課題に対する区役所の取組

重点課題：「隣近所と顔見知りになり日常的に助け合える関係づくり」

【ふれあい訪問事業】

地域でのひとり暮らし高齢者等の見守りに、必要な情報提供や研修を行います。

【こんにちは赤ちゃん訪問事業】

地域と協力し、生後4か月までの乳児のいる家庭を地域の訪問員が訪問し、地域の子育てに関する情報提供等を行います。



【すくすくかめっ子事業】

地域の親子のたまり場「すくすく子がめ隊」の運営を支援します。

【保育園における地域子育て推進事業】

園庭開放等で、子育て中の親子の交流を図ります。また、親子に地域行事について情報提供し、参加を呼びかけます。

【災害時要援護者対策支援事業】

地域と協働し、地域における災害時要援護者の支援体制づくりを行います。

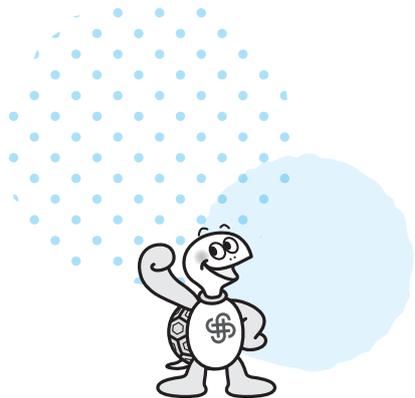
【福祉・保健の拠点による情報発信】

地域ケアプラザ、福祉保健活動拠点、「かながわ地域活動ホームほのぼの」、子育て支援拠点「かなーちえ」、区民活動支援センターにおいて活動に必要な情報を収集・提供します。

地域を支援するための菅田地域ケアプラザの取組

- 民生委員児童委員やボランティアグループ、地区センター、保育園と協力し、子育て支援プログラムや、地域とのふれあい交流事業、未就学児のいる保護者の相談に積極的に取り組みます。
- 認知症高齢者が住みなれた地域で暮らし続けられるように「菅田町認知症高齢者支援マップ」の作成をきっかけに、地域・福祉施設・医療機関・公共機関等とのネットワークを構築し、認知症高齢者や家族の見守りを支援します。また、そのための地域住民への理解促進と見守りのシステムづくりを検討します。
- 福祉施設やグループホームとの連絡会を定期的に行い、ネットワークづくりに取り組みます。また、福祉施設やグループホームと連携し、ボランティア講座や地域との交流等を計画し、地域と一体となって、菅田地区の福祉保健を推進します。
- 地域ケアプラザの利用団体や、デイサービスの利用者と共に、活動の成果の発表やバザー等、地域の方々に地域ケアプラザの機能や活動を知ってもらうきっかけづくりを積極的に行います。
- 支えあい連絡会の事務局として、地域のネットワークづくりを支援します。





地域別懇談会の様子



地域別懇談会の様子

